

防整技第8293号

令和2年6月2日

各地方防衛局総務部長
各地方防衛局調達部長
帯広防衛支局長 殿
熊本防衛支局長
名護防衛事務所長

整備計画局施設技術管理官

(公 印 省 略)

技術研修の実施に必要な細部事項について(通知)

標記について、建設工事に従事する職員に対する技術研修実施要領について（防整技第7163号。28.3.31）第8の規定に基づき、別紙のとおり技術研修の実施に必要な細部事項を定めたので通知する。

本細部事項は、令和2年度より実施することとしたので、管下の建設工事に従事する職員に周知されたい。

添付書類：別紙

写送付先：大臣官房秘書課長、整備計画局施設計画課長、施設整備官、提供施設計画官

技術研修の実施に必要な細部事項について

1 目的

本細部事項は、技術研修に必要な技術研修要領（以下「シラバス」という。）を定めるとともに、研修実施に当たり被研修者が留意すべき事項を定めるものとする。

2 シラバスに定める事項

シラバスは別表のとおりとし、技術研修の内容は、研修区分ごとに定めるものとする。

3 被研修者が留意すべき事項

（1）技術研修の役割

建設工事に従事する職員が、業務に必要な知識及び技術（以下「知識等」という。）を習得するには、建設工事の実施を担う地方防衛局等において実務に従事し、知識等を広範囲かつ詳細に蓄積することが不可欠である。

他方、実務を通じて得られる知識等には個々の経験等により差があることから、技術研修は、これを補完するため、一定期間ごとに行うことにより、知識等の一層の充実を図るものである。

（2）知識等の自己点検

被研修者は、受講前に付紙様式に示す「セルフチェックシート」に、受講課目に対する自己の理解度を記入し、不足している知識等の習得を意識して研修参加するなど、技術研修の機会を最大限活用し、知識等の習得に努めるものとする。

（3）技術研修後の継続的な自己研鑽

被研修者は、研修で習得した知識等について、実務での活用を通じてより一層充実を図るなど、継続的に自己研鑽に努めるものとする。

研修内容				研修区分							研修形態概要
事業段階	習得が必要な能力	職種	課目	初任者	初級係員	中級係員	初任係長	係長	専門官	課長補佐	
1 準備	防衛施設の建設工事を担う技術者として業 導入 1 務の流れや関係法令等の概要を理解する能力	共通	1 防衛施設の建設工事に係る業務の流れと役割、関係法令、訓令等の概要を理解	入門	基礎						防衛施設の建設工事に係る一連の業務の流れ（ERE-FORCE含む）の概要について講義し、初級係員においては、関係法令や訓令の概要についても講義
		共通	2 防衛施設の建設工事に係る組織の概要を理解	入門	基礎						内部部局、要求機関、地方防衛局の関係及び各課官の所掌事務等を講義(提供施設の整備等)
		共通	3 会計検査院の役割等の概要を理解	入門	基礎						会計検査を受検する意義について講義
		共通	4 防衛施設の建設工事に係る会計制度の概要を理解	入門	基礎						財務省の役割、概算要求、予算制度（予算の種別、単年度会計等）建設工事に関する会計制度等の概要を講義
	導入 2 説明力向上	共通	1 決裁等、説明時の要点を理解	入門	基礎	到達					職種間の相互理解や過去の経験を共有する説明対応する際のポイントを、標準的なフォーマットを基に理解
	調整 3 過去事例を基に対応する能力	共通	1 建設工事事例集の内容の理解		入門	基礎	到達				対処方法を検討するにあたり、過去事例が参考にできることを理解
2 基本構想	技術 1 大規模整備等における初期段階検討に当たっての前提条件を整理する能力	共通	1 施設整備が求められる背景を理解（防衛計画大綱、中期防衛力整備計画等の概要を理解）	入門		基礎	到達				わが国を取り巻く安全保障環境（グレーゾーン事態を含む）など常識などから、自衛隊の能力などに関する主要事業、主要施策など施設整備に直結するようなものを中心に講義・討議
		共通	2 整備する施設に求められる所要を理解（運用部隊の特性、装備品の概要、要求性能等を理解）	入門		基礎		到達			陸海空自衛隊（部隊）の組織及び任務、中期防衛力整備計画に基づく体制移行、駐屯地・基地、部隊及び装備品の概要、教育訓練及び各種事態等における隊員・部隊の行動等について講義
		共通	3 対象地域の社会環境・自然環境を把握（関係自治体の概況、地域の産業、インフラ、地形地質、気候、稀少な動植物、文化財等）			基礎		到達			環境影響評価法等の趣旨、実施例を概説し、既存資料等を用いて例示する特定の地域の環境情報の収集整理を行ったうえで、環境保全の必要性について学習する
		共通	4 対象区域の既存施設を把握（建築物、工作物、道路、上下水道、電力・通信等）、土地の所有権（公有地、私有地）			基礎		到達			既設構造物調査実施例や基地基本図を用いて各ユーティリティーの主要施設、幹線、準幹線の読み取り方などを概説し、実際に自ら情報を読み取らせる
	技術 2 前提条件を踏まえた施設整備概略計画を立案する能力	共通	1 求められる所要や地域の環境を踏まえた整備方針を立案			入門		基礎 1	基礎 2	到達	新規開発事案例の検討プロセスを参考にし、実際に自ら検討させる
		共通	2 求められる所要を機能別に分類し、対象区域のゾーニングを計画			入門		基礎 1	基礎 2	到達	新規開発事案例の検討プロセスを参考にし、実際に自ら検討させる

研修内容				研修区分							研修形態概要
事業段階	習得が必要な能力	職種	課目	初任者	初級係員	中級係員	初任係長	係長	専門官	課長補佐	
2 基本構想 (続き)	技術 2 前提条件を踏まえた施設整備概略計画を立案する能力 (続き)	共通	3 施設の基本的な配置計画を複数案作成し、各案の特徴を整理（建物配置計画、道路計画、インフラ計画、施設防護計画等）			入門		基礎1	基礎2	到達	新規開発事案例の検討プロセスを参考にし、実際に自ら検討させる
		建築	4 主要建物の概略平面計画を作成（ゾーニング、面積所要、建物形状等）				基礎		到達		新規開発事案例の検討プロセスを参考にし、実際に自ら検討させる
		土木	5 概略計画を作成（造成、道路、上下水道等）				基礎		到達		新規開発事案例の検討プロセスを参考にし、実際に自ら検討させる
		電気	6 概略電気設備計画を作成（必要電力量、非常用発電等）				基礎		到達		新規開発事案例の検討プロセスを参考にし、実際に自ら検討させる
		通信	7 概略通信設備計画を作成（防衛省・自衛隊全体通信網との接続(D I I 等))				基礎		到達		新規開発事案例の検討プロセスを参考にし、実際に自ら検討させる
		機械	8 概略機械設備計画を作成（熱源施設、燃料施設等）				基礎		到達		新規開発事案例の検討プロセスを参考にし、実際に自ら検討させる
		共通	9 概略環境保全対策計画を作成（回避、保存、移動、創出等）					基礎1	基礎2	到達	新規開発事案例の検討プロセスを参考にし、実際に自ら検討させる
	技術 3 全体事業費を概略算定する能力	共通	1 事業概算額を算出（類似施設の実績額、単金、積上げ、見積り）				入門	基礎1	基礎2	到達	新規開発事案例の検討プロセスを参考にし、実際に自ら検討させる 概算精度の重要性を理解させる
	技術 4 全体事業工程を概略作成する能力	共通	1 事業概略総合工程表の作成（クリティカルとなる重要部分の抽出）				入門	基礎1	基礎2	到達	新規開発事案例の検討プロセスを参考にし、実際に自ら検討させる 概略精度の重要性を理解させる
	法令 5 開発等に係る関係法令等の概要を理解する能力	共通	都市計画法、自然公園法、森林法、海岸法、環境基本法、土壌汚染対策法、廃掃法、環境影響評価法、文化財保護法、景観法、建築基準法、消防法等の内容整理		入門	基礎		到達			各法の趣旨、概要について講義（必要に応じて、理解度の確認を実施）
		共通	2 国が行う開発行為等に対する各法の規定内容の把握			基礎		到達			国が行う開発行為等が各法においてどう扱われるのかを講義
		共通	3 各関係法令手続に関する過去事例（実績）の把握			基礎		到達			過去事例について概説

研修内容				研修区分								研修形態概要
事業段階	習得が必要な能力	職種	課目	初任者	初級係員	中級係員	初任係長	係長	専門官	課長補佐		
2 基本構想 (続き)	検討に当たって必要となる前提条件項目を調整 6 抽出し、関係者から施設所要等を聞き取る能力	共通	1 整備する施設に求められる所要を聞き取り・整理			入門		基礎 1	基礎 2	到達	新規開発事案例の検討プロセスを参考にし、実際に自らヒアリングさせ、施設所要をまとめさせる ヒアリングの重要性や、ポイントを理解	
	調整 7 検討すべき内容を明確にし、作業を割り振る能力	共通	1 説明資料の目次を作成し、作業担当を割り振るとともに作業期限を設定（作業見積り）			入門		基礎 1	基礎 2	到達	新規開発事案例の検討プロセスを参考にし、実際に自ら検討させる	
	調整 8 検討結果を取りまとめ、関係者に明確に説明明し、必要な修正に対し柔軟に対応できる能力	共通	1 検討結果の説明資料を作成			入門		基礎 1	基礎 2	到達	新規開発事案例の検討プロセスを参考にし、実際に自ら説明資料を作成させ	
		共通	2 検討結果を説明					基礎 1	基礎 2	到達	自ら作成した説明資料によって、様々なシチュエーションで説明させる（1対1、1対30、高官、課長、部内、部外等）	
3 実施設計	技術 1 実施設計（基本設計）を行うに当たっての前提条件を整理する能力	共通	1 工事基本計画書（工事実施計画書）に基づく整備内容、整備規模、秘を含むか否かを把握			基礎 1	基礎 2	到達			取得訓令を概説すると共に、工事基本計画書の記載内容、拘束力、注意点及び秘の決定方法、伝達方法、取扱いなどを実例を用いて講義	
		共通／職種ごと	2 施設に求められる基本的性能の内容（分類、水準、性能等）を把握		入門（共通）	基礎 1（共通）	基礎 2（職種ごと）	到達（職種ごと）			基本的性能基準を概説すると共に、別紙様式 1 の記載内容、拘束力、注意点などを実例を用いて講義し理解	
		職種ごと	3 ユーザー側が設定する詳細な設計条件（部隊要望）を理解			基礎 1	基礎 2	到達			ニーズ表に関する記載内容、拘束力、注意点などを実例を用いて講義し理解	
		共通	4 駐屯地・基地周辺のインフラ整備状況や資機材搬出入に係る道路及び沿道の環境状況等を把握			基礎		到達			例示する駐屯地・基地を対象として、工事用車両等の通行による周辺の環境（交通渋滞、騒音振動、通学路の安全等）に与える影響を検討	
		職種ごと	5 法令等規制による各種制限内容の把握			基礎		到達			例示する駐屯地・基地の実施例を参考にし、法令等規制による各種制限を整理させる	
	技術 2 工事目的物に応じた調査計画を立案する能力	職種ごと	1 調査（地形測量、既設構造物、ボーリング調査、土質試験等）の計画を立案	入門	基礎 1	基礎 2	到達				過去事例を概説すると共に、実際に自ら調査計画を立案させる	
		職種ごと	2 その他の事案に応じた調査（深淺測量、環境調査等）の計画を立案		基礎 1	基礎 2	到達				過去事例を概説すると共に、実際に自ら調査計画を立案させる	
	技術 3 実施設計（基本設計）に係る成果物を履行期限内に完了させる能力	職種ごと	1 設計業務成果物の目次（設計計画）を作成			基礎 1	基礎 2	到達			過去事例を概説すると共に、実際に自ら設計計画を立案させる	

研修内容				研修区分							研修形態概要
事業段階	習得が必要な能力	職種	課目	初任者	初級係員	中級係員	初任係長	係長	専門官	課長補佐	
3 実施設計 （続き）	技術 3 実施設計（基本設計）に係る成果物を履行期限内に完了させる能力 （続き）	職種ごと	2 設計基準類を適正に運用（適用基準の選定、適用範囲、解釈の理解等）	入門		基礎1	基礎2	到達			各種設計基準類を体系的に概説すると共に、ポイントを詳細に解説 重要なポイントについては理解度を確認
		建築	3 建築設計（建築計画）の実施	入門		基礎1	基礎2	到達			過去事例を概説すると共に、実際に自ら設計/計画させ、設計コンセプトを含む設計概要を説明させる
		建築	4 建築設計（建築構造）の実施			基礎1	基礎2	到達			過去事例を概説すると共に、実際に自ら設計/計画させ、設計コンセプトを含む設計概要を説明させる
		土木	5 土木設計（造成、飛行場、港湾、給水施設、汚水処理施設）の実施			基礎1	基礎2	到達			過去事例を概説すると共に、実際に自ら設計/計画させ、設計コンセプトを含む設計概要を説明させる
		土木	6 土木設計（建物附帯（道路・水道・汚水・雨水・環境整備）等）の実施	入門		基礎1	基礎2	到達			過去事例を概説すると共に、実際に自ら設計/計画させ、設計コンセプトを含む設計概要を説明させる
		電気	7 電気設備一般設計（電灯・動力等）の実施	入門		基礎1	基礎2	到達			過去事例を概説すると共に、実際に自ら設計/計画させ、設計コンセプトを含む設計概要を説明させる
		電気	8 電気設備特殊設計（発電機、航空灯火等）の実施			基礎1	基礎2	到達			過去事例を概説すると共に、実際に自ら設計/計画させ、設計コンセプトを含む設計概要を説明させる
		通信	9 通信設備一般設計（構内交換設備、構内情報通信網設備、TV共同受信設備等）の実施	入門		基礎1	基礎2	到達			過去事例を概説すると共に、実際に自ら設計/計画させ、設計コンセプトを含む設計概要を説明させる
		通信	10 通信設備特殊設計（寄託品、電波障害等）の実施			基礎1	基礎2	到達			過去事例を概説すると共に、実際に自ら設計/計画させ、設計コンセプトを含む設計概要を説明させる
		機械	11 機械設備設計（空調設備、熱源計画）の実施	入門		基礎1	基礎2	到達			過去事例を概説すると共に、実際に自ら設計/計画させ、設計コンセプトを含む設計概要を説明させる
		機械	12 機械設備設計（衛生設備、消防用設備、燃料・蒸気設備計画）の実施			基礎1	基礎2	到達			過去事例を概説すると共に、実際に自ら設計/計画させ、設計コンセプトを含む設計概要を説明させる
		共通/ 職種ごと	13 特殊構造物設計（弾薬庫、燃料タンク、鉄塔、レーダーサイト関連等）の理解				基礎		到達		過去事例を概説するとともに、実際に自ら検討させ、設計コンセプトを含む設計概要を説明させる。

研修内容				研修区分							研修形態概要	
事業段階	習得が必要な能力	職種	課目	初任者	初級係員	中級係員	初任係長	係長	専門官	課長補佐		
3 実施設計 (続き)	技術 3 実施設計（基本設計）に係る成果物を履行期限内に完了させる能力 (続き)	共通	14 防護設計（抗たん施設、CBRNE対策、HEMP）の実施				基礎		到達		演習用モデルにより爆発や放射線などからの各種防護方法を概説する	
		共通/ 職種ごと	15 環境保全設計（大気、騒音振動、動植物、景観、文化財等）の実施				基礎		到達		過去事例を概説するとともに、実際に自ら検討させる。	
		共通	16 他職種設計との整合確認（取り合い等）			基礎		到達			演習用モデルを用いて実際に各職種間の確認を行わせる	
		職種ごと	17 数量計算書の作成		基礎		到達				過去事例を概説すると共に、実際に自ら数量計算書を作成させる	
		共通	18 設計成果品の確認			基礎 1	基礎 2	到達			設計成果品の確認ポイントの理解	
	法令 4 開発等に係る関係法令等に基づく手続きを実施する能力	職種ごと	1 各関係法令（開発関連法令、建築基準法、消防法等）に基づく申請書等の作成			基礎		到達			過去事例を概説すると共に、実際に自ら各種申請書を作成させる	
	調整 5 ユーザーや他職種の考えを確認しながら設計を確実に進める能力	共通	1 設計業務スケジュールの作成及び各段階（30%、60%、90%）で決定すべき事項を明確にし関係者と共有			基礎 1	基礎 2	到達			演習用モデルを用いて実際に各段階に決定すべき事項を整理させる	
		共通	2 関係者に対する各段階での説明・意見聴取及び同意			基礎 1	基礎 2	到達			演習用モデルを用いて実際に各段階での説明を行わせる	
		共通	3 部隊要望と基本計画、予算、工事工期との整合確認			基礎 1	基礎 2	到達			演習用モデルを用いて実際に整合確認を行わせる	
	調整 6 関係法令等に基づく申請等に係る調整を実施する能力	共通	1 関係機関に対し計画内容及び申請内容の説明					基礎		到達	演習用モデルを用いて実際に計画内容等の説明を行わせる	
	技術 7 図面作成システムの理解	職種ごと	1 図面作成システムの操作方法と作成時の注意点を解説（JW-CAD）		基礎	到達						図面作成システムの必要性や操作方法、注意点の解説

研修内容				研修区分							研修形態概要
事業段階	習得が必要な能力	職種	課目	初任者	初級係員	中級係員	初任係長	係長	専門官	課長補佐	
4 積算	技術 1 工事費を適切に積算する能力	職種ごと	1 積算基準類を適正に運用（適用基準の選定、適用範囲、解釈の理解等）		基礎	到達					各種積算基準類を体系的に概説すると共に、ポイントを詳細に解説、重要なポイントについては理解度を確認 共通費計算におけるポイントを理解
		職種ごと	2 積算システムの解説（RIBC、GAIA）		基礎	到達					積算システムの必要性や操作方法、注意点の解説
	技術 2 業務費を適切に積算する能力	官庁営繕、土木	1 積算基準類を適正に運用（適用基準の選定、適用範囲、解釈の理解等）			入門	基礎	到達			各種積算基準類を体系的に解説
		官庁営繕、土木	2 業務費積算の考え方と注意点			入門	基礎	到達			実務に際してのポイントを詳細に解説、重要なポイントについては理解度を確認
5 工事発注	技術 1 工事の特性に応じた発注方式を選定する能力	共通	1 各発注方式の体系的理解			入門		基礎		到達	各発注方式を体系的に講義する
		職種ごと	2 総合評価方式の技術提案に係るテーマ設定、評価基準の作成及び評価				入門	基礎1	基礎2	到達	過去事例を概説するとともに、実際に自らテーマ設定や評価基準の作成を行わせる
		共通	3 部隊運用を踏まえた発注計画の作成				入門	基礎		到達	演習用モデルを用いて実際に発注計画を作成させる
		共通	4 適切な工期算出の方法と解説				入門	基礎1	基礎2	到達	週休2日制や工期算定プログラムの解説 工期延長時の考え方について解説
	法令 2 建設工事請負契約等に関連する法令を理解し運用する能力	共通	1 関係法令等の概要を体系的に理解（公共事業の入札・契約手続きの改善に関する行動計画、公共工事入札契約適正化法、公共工事品確法、建設業法、財政法、会計法、予算決算及び会計令、予費法等）		基礎		到達				各法の趣旨、概要について講義
		共通	2 談合情報対応マニュアルの理解	入門	基礎		到達				概要について講義
		共通	3 工事発注に係る一連の諸手続及び電子入札に関する事項の理解（発注見直し公表、入札公告、競争参加資格の確認、入札、契約、結果の公表）			基礎1	基礎2	到達			概要について講義する

研修内容				研修区分								研修形態概要
事業段階	習得が必要な能力	職種	課目	初任者	初級係員	中級係員	初任係長	係長	専門官	課長補佐		
5 工事発注 (続き)	調整 3 関係業界に説明できる能力	職種ごと	1 積算方法等について関係業界に対する説明					基礎		到達	過去事例を概説するとともに、実際に積算方法について説明させる	
		職種ごと	2 入札に係る質問書に対する回答			基礎 1	基礎 2	到達			過去事例を用いて実際に回答書を作成させる	
	調整 4 部内関係者に説明できる能力	職種ごと	1 競争参加資格審査委員会・技術部会等での設計図書を用いた工事概要等の説明			基礎 1	基礎 2	到達			過去事例を用いて実際に概要書の作成及び説明を行わせる	
6 工事実施	技術 1 契約書等を正確に理解する能力	共通	1 工事請負契約書及び関係訓令等（監督の実施細目等）の規定事項の理解	入門	基礎		到達				ポイントを詳細に解説、重要なポイントについては理解度を確認 技術提案や週休 2 日制、熱中症対策等の監督官として随時確認をしなければならない事項の解説・理解	
	技術 2 適正な工事監理をする能力	職種ごと	1 工事仕様書（公共建築工事標準仕様書、土木工事標準仕様書等）の理解	入門	基礎		到達				各工事仕様書類を体系的に概説すると共に、ポイントを詳細に解説し、重要なポイントについては理解度を確認する	
		職種ごと	2 工事施工条件の把握（部隊運用、技術提案、地域環境等）		基礎		到達				・各工事仕様書類を体系的に概説すると共に、ポイントを詳細に解説 重要なポイントについては理解度を確認 ・演習用モデルを用いて実際に工事施工条件を整理させる	
		職種ごと	3 施工計画書及び工事実施工程表（詳細ネットワーク）の確認		基礎		到達				過去事例を概説すると共に、実際に自ら実施工程表を作成させる	
		職種ごと	4 出来高計測（トータルステーション、レベル、テープ等）、品質管理試験の確認、現場研修	入門	基礎		到達				出来形計測については実技を行わせる 品質管理については過去事例等を用いて概説する	
		職種ごと	5 施工関係書類（現場書類）の確認	入門	基礎		到達				過去事例を概説すると共に、実際に自ら現場書類の一部を作成させる	
		職種ごと	6 施工確認計画（施工立会い、中間技術検査）の実施と報告		基礎		到達				過去事例を概説すると共に、実際に自ら確認検査計画を作成させる	
		共通	7 工事実施工程表に基づく工事進行状況の管理		基礎		到達				過去事例を概説すると共に、実際に自ら工程の修正検討を行わせる	
		職種ごと	8 工事監理業務計画の作成		基礎		到達				過去事例を概説すると共に、実際に自ら工事監理業務委託仕様書を作成させる	

研修内容				研修区分								研修形態概要
事業段階	習得が必要な能力	職種	課目	初任者	初級 係員	中級 係員	初任 係長	係長	専門官	課長 補佐		
6 工事実施 (続き)	技術 3 施工条件等の変化に対応する能力	共通	1 設計変更事務処理要領及び工事一時中止に係る事務処理要領の理解		基礎		到達				ポイントを詳細に解説、重要なポイントについては理解度を確認	
		共通	2 設計変更への対応（施工条件等の変化、変更及び物価変動、予算及び工期への影響の把握等）		基礎		到達				過去事例を概説すると共に、実際に自ら施工条件の変更項目を整理し、設計変更の全体スケジュールを理解	
	法令 4 工事実施時に必要となる関係法令等に基づく手続きを実施する能力	職種ごと	1 各関係法令（各種工事着手届等）に基づく申請書等を把握		基礎		到達				過去事例を概説すると共に、実際の各種申請書を整理させる	
		共通	2 建設業法等の義務規定（施工体制、技術者の専任等）の理解		基礎		到達				関係法令等を体系的に概説すると共に、ポイントを詳細に解説 重要なポイントについては理解度を確認	
	調整 5 工事内容を説明し理解を得る能力	共通	1 工事概要説明資料の作成及び説明（部隊、関係自治体、地域住民）					基礎		到達	過去事例を用いて実際に自ら工事概要説明資料を作成し、様々なシチュエーションで説明させる	
		共通	2 対外対応（工事に反対する住民、マスコミ等）					基礎		到達	演習用モデルを用いて実際に反対派及びマスコミ等と対峙する雰囲気を経験させる	
	調整 6 工事連絡体制を確立する能力	共通	1 総合調整会議の実施、継続的な運営				入門	基礎		到達	演習用モデルを用いて実際に総合調整会議について検討させる	
	調整 7 現場での問題等に対応する能力	共通	1 他職種からの協議に対する対応	入門	基礎 1	基礎 2	到達				演習用モデルを用いて実際に職種間調整を行なわせる	
		共通	2 受注者からの協議に対する対応（ワンデーレスポンス等）	入門	基礎 1	基礎 2	到達				演習用モデルを用いて実際に受注者からの問い合わせにレスポンスさせる	
		共通	3 部隊側からの新たな要望への対応	入門	基礎 1	基礎 2	到達				演習用モデルを用いて実際に部隊からの追加要望への対応を検討させる	

研修内容				研修区分								研修形態概要
事業段階	習得が必要な能力	職種	課目	初任者	初級係員	中級係員	初任係長	係長	専門官	課長補佐		
6 工事実施	調整 8 臨機の措置の対応能力	共通	1 事故発生時の対応、台風災害時の事前対応、じ後の対応及び報告		入門	基礎1	基礎2	到達			過去事例を概説すると共に、実際に自ら事故発生時及びじ後の対応の検討をさせる	
	技術 9 事業監理課の業務について	共通	1 プロジェクトマネージメント等					基礎	到達		事業管理業務の手法等について解説	
7 工事完了	技術 1 工事目的物の完成確認を適切に行える能力	共通	1 関係訓令等（検査の細部事項）の規定事項の理解		基礎		到達				ポイントを詳細に解説、重要なポイントについては理解度を確認	
		職種ごと	2 限られた時間内で施工関係書類（現場書類）のポイント確認					基礎		到達	過去事例を用いて実際に自ら検査のポイントを検討させる。	
		職種ごと	3 不具合の内容、影響及び原因の把握（運用への影響、原因究明）					基礎		到達	過去事例を用いて不具合の内容、影響及び原因を検討させる	
		職種ごと	4 不具合発覚後の適正な対応の検討（対処法の検討、対外説明）					基礎		到達	前項の検討結果を踏まえ、爾後の対応及び対外説明を検討させる	
	技術 2 国有財産登録資料	共通	1 国有財産登録資料の理解	入門	基礎	到達					財産登録資料作成の意義を理解するとともに、資料を作成させる	
8 引渡し後	技術 1 引き渡し後に不具合が確認された場合の対応能力	共通	1 引渡し後に生じた不具合の内容、影響及び原因の把握（運用への影響、原因究明）					基礎		到達	引渡し後に生じた不具合について、過去事例を用いて不具合の内容及び影響を検討させる	
		共通	2 引渡し後に生じた不具合発覚後の適正な対応の検討（対処法の検討、対外説明）					基礎		到達	前項の検討結果を踏まえ、爾後の対応及び対外説明を検討させる	

[illegible]

1 当該シートは、シラバスに記された、習得が必要な能力が身に付いているか自己管理するためのシートである。

2 理解度を判断するレベル(参考)

良： 良く理解できている(人に要点をおさえた説明ができ、質問にも答えられるなど、自信を持っている。)。
やや良： 概ね理解できている(人にある程度説明できるが、質問に答えるには少し自信がない。)。
普通： 普通に理解できている(人にある程度説明できるが、質問に答える自信がない。)。
やや不足： 理解がやや不足している(少し学習しなければ、人に説明する自信がない。)。
不足： 理解できていない(人に説明する自信がなく、多くの学習を必要としている。)

※ 人とは、上司、同僚(先輩、後輩)などで、説明とは、技術研修資料を手元に置き説明するというイメージである。
また、図面決裁や監督業務などの日常業務の能力向上度合など(質、処理スピードなど)も判断するレベルとして良い。

[illegible]